

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 口腔がん動注化学放射線療法後の放射線性顎骨壊死に関する研究

研究の目的

進行口腔がんに対する動注化学放射線療法は有効な治療法ですが、代表的な有害事象として放射線性顎骨壊死があります。放射線治療後は口腔衛生環境が悪くう蝕になったとしても顎骨壊死を誘発するため抜歯をすることは推奨されていません。弘前大学医学部附属病院歯科口腔外科では 2011 年以降動注化学放射線治療前に口腔ケアと保存が困難な歯の治療前抜歯を行なっています。本研究は動注化学放射線治療の治療前口腔ケアと保存が困難な歯の抜歯による放射線性顎骨壊死の発症率を検討するものです。口腔ケア・保存が困難な歯の抜歯と放射線性顎骨壊死の関係を明らかにすることが本研究の目的です。

研究実施期 実施許可日～ 2027 年 3 月 31 日

間：

対象となる方： 2003 年から 2024 年まで弘前大学医学部附属病院歯科口腔外科で口腔がんに対して動注化学放射線治療を施行した患者さんが対象です。

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、性別、口腔ケアの有無、治療前抜歯の有無、治療前の末梢血からの好中球 リンパ球比(NLR)、血小板 リンパ球比(PLR)、リンパ球-単球比(LMR)、予後推定栄養指数(PNI)、放射線性顎骨壊死の有無、放射線性顎骨壊死の治療法等の情報情報を収集し、標記研究課題実施のために利用します。なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(匿名化)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

歯科口腔外科・久保田 耕世 0172-39-5127/kkubota@hirosaki-u.ac.jp